



重点的な景観づくり に取り組んでほしい

広報えな9月1日号の特集「景観づくり」を読みました。当地域はほとんどが山林ですが、最近では木材の伐採なども見掛けません。市の間伐事業が目に見えるよう、幹線道路沿いを重点的に行うことはできないですか。交通の支障緩和と景観形成の向上につながることも、間伐のPRにもなると思います。

地域内では、主要道路の草刈りを住民が行っています。他地域への連絡道路の管理が悪く、交通の支障になっている上、景観形成にも非常に悪いです。河川においても、管理道路の草刈りなどは住民が行っていますが、河川の中は、ヨシが繁茂し水の流れさえ見づらくなっています。

ます。
こうした対応はどうなるのですか。

(市政モニター)

答

ご指摘の通り本市は大部分が山林ですが、近年は林業の衰退などにより手入れがされない山林が増え、交通の妨げなど景観上も良くない状態となっています。それらを改善し良好な景観づくりを進めるためには、林業の活性化や間伐材の利用促進などにより、間伐が活発に行われるという流れを作ることが重要です。そのための仕組みを考え実現していきたいと思っています。

またPRという点で、景観計画では、市民の皆さんが日常的に景観に触れ、観光客などに当市のイメージを強く印象付ける国道や県道などを景観体験軸として設定し、重点的に景観づくりを行う事を考えています。国道や県道などで優先的に、間伐が行われるような仕組みも合わせて考えていきます。
道路や河川などの公共施設は、地域の景観の骨格となる重要なものです。市の景観づく



▲道路沿いの景観(笠置町)

くりの上で、特に重要なものについては、関係機関と協議しながら景観重要公共施設として指定し、地域の景観づくりにふさわしい整備を進めます。

景観を日頃から美しく保つためには、草刈りや清掃などの手入れが必要不可欠となります。道路の草刈りなどについては、今後も市民の皆さんの協力をいただきたいと思います。

現在「みんなのみち愛護事業」で費用助成をしています。が、支援方法や仕組みなどを今後、再度検討していきたいと思っています。

(都市整備課)

広報えなの特集「地震対策」を読んで

居住区の自治会も高齢化が進み、地震などいざ事があつたとき冷静に対処できるか疑問です。避難場所、経路など見直しも大切だと思います。災害に遭ったとき、自動車で避難する人もあるかと思いますが、地域によっては道幅の狭い場所もあります。緊急車両の通行も想定して、一方通行を検討されたいと思います。

非常持ち出し品の一覧と食料品の必要最低限の目安日数は、大変参考になりました。市が管理する防災備蓄品の常備場所(15力所)やその管理者(連絡場所)は誰もが分かるようにならないものでしょうか。

被災して家庭電話や携帯電話が使えない緊急時のみに、消防署や警察、市役所など特定場所への連絡用の無料電話を設置したらどうでしょう。

(市政モニター)

答

防災については、今後もさまざまな取り組みが必要と認識しています。避難行動については、原則徒歩となりますが、山間地で避難所が遠方の方や高齢者は、徒歩での移動が困難なことから、自動車での移動も検討が必要と考えます。

狭い道路の一方通行化は、緊急車両の通行に役立つかと思いますが、日常生活を考えると、なかなか実現できないと思います。地域の方が緊急時の通行ルールを考えるなど、災害時の心構えを話し合うことも一つの方法です。

防災備蓄倉庫は、新たに設置箇所を増やします。主に避難所となっている学校に設置していきます。設置箇所がまとまりましたら、場所などを分かりやすくお知らせします。

連絡用の無料電話というシステムは、一般電話と同じく電話回線を使用するため、利用できないことになりありません。緊急時の連絡方法について、有効な方法がないのか、通信事業者などと情報交換するなど進めていきます。

(防災情報課)



▲防災備蓄倉庫(中野方町)

消防コミュニティ にAEDの設置は

新しい消防防災センターを見学して、思ったことを提案します。

市内には、救急車が到着するのに、救命可能時間を超えてしまっている地域があるので、AED(自動体外式除細動器)の設置箇所を増やしてほしいと思います。

現在は、振興事務所や学校、診療所などにありますが、不在時に果たしてガラスを割つてまで、取り出すことができるのかどうか…。



▲多くの人が集まる施設に設置しているAED

答

市では、AED設置について市総合計画のAED整備支援事業によって、市内の小中学校、保育園、コミュニティセンターなどの公共施設に、76台整備しました。

しかし市民の方が、AEDを24時間、いつでも使用できるような管理体制が課題であると考えています。

消防コミュニティのAEDの設置については、現在、検討中です。

(消防課)



『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません)
□掲載の申し込み・問い合わせ 企画課広報広聴係 ☎26-2111 (内線319)

串原マレットハウスで 初春まつり

□期間 平成24年1月2日(月)〜29日(日)
□ところ 串原マレットハウス

□布ぞうり飛ばし大会 ▽とき 毎週日曜日、午後2時 ▽賞品 Ⅱささゆりの湯年間パスポート他
□布ぞうり重さ当てクイズ ▽とき Ⅱ平日、随時 ▽賞品 Ⅱささゆりの湯利用券
□元祖五平バーガープレゼント ▽とき Ⅱ毎週日曜日、午前11時 ▽定員 Ⅱ先着20人

□綿菓子プレゼント ▽とき Ⅱ毎週土・日曜日 ▽対象 Ⅱ小学生以下 ▽定員 Ⅱ

先着2000人
問 串原マレットハウス ☎52-2960

はじめてのパソコン講座

□とき 1月12日(木)午後1時〜3時、17日、24日、31日(火曜日) 午前9時半〜11時半
□内容 ウィンドウズXPを使い文字入力やマウス、キーボードの使い方など、パソコンの基本操作を丁寧に説明します。
□料金 7000円(別途テキスト代10500円)
□定員 18人(定員になり次第締め切り)
□ところ 恵那文化センター視聴覚室
□申し込み期間 12月10日(土)午前10時から開講日前日まで。初めて受講される方は、平成24年1月4日(木)までに申し込み優先されます。

申・問 パソコンサポートクラブ ☎090-426519727

第39回J.C.青年の船「とうかい号」乗船者を募集

□期間 平成24年6月2日(土)〜9日(土)
□寄港先 台湾
□参加資格 ①原則、20歳から35歳までの男女②健康状態が良好で、団体行動に耐えられる人③青年として恥ずかしくない常識を備えた、明朗で協調性のある人④公的秩序を乱すことのない人⑤とうかい号に乗船経験のない人
□料金 22万3000円
□事前研修 オリエンテーション、結団式
□締め切り 平成24年1月28日(土)
問(社)恵那青年会議所(遠山) ☎25-9401



▲とうかい号出航の様子